

## 災害に備えたペットの防災対策 ～人もペットも一緒に避難～

災害時に何より優先されるのは人命です。しかし、近年になり、ペットは家族の一員であるという意識が高まってきています。ペットと同行避難をすることは、動物愛護の観点だけでなく、飼い主の心のケアの観点からも重要です。

また、過去の震災においては、迷子になった犬が野犬化し、危害をもたらしたり、自然繁殖により生態系や野生動物に影響を与えたりする事例が発生しています。

災害はいつ発生するか分かりません。ペットを守ってあげられるのは飼い主の方だけです。いざという時に備え、事前に準備をしておきましょう。

### ▶事前に準備しておくこと

- ☑ 住まいの防災対策  
住まいの強化は、人だけでなくペットの安全にもつながります。ペットが普段生活する場所にも配慮し、耐震診断や耐震改修、家具の固定を積極的に行いましょう。
- ☑ 健康管理としつけ  
日頃からワクチン接種や寄生虫の予防など健康管理に注意しましょう。また、ケージの慣らしや決められた場所での排泄などのしつけをしておきましょう。
- ☑ 迷子対策  
災害に驚いて逃げてしまうことがあります。保護された際に飼い主のもとに帰れるよう、迷子札やマイクロチップなどにより身元が分かるようにしておきましょう。
- ☑ ペット用品の確保  
避難所においてペットの飼育に必要なものは、基本的に飼い主が用意しておくものです。ペットフードや薬、トイレ用品などを備蓄しておきましょう。

### ▶災害発生後に注意すること

- ☑ ペットの避難  
まずは飼い主の方ご自身の安全確保が第一です。避難する場合は、ペットと一緒に避難する「同行避難」が原則です。  
**「同行避難とは」**  
災害発生時に、飼い主がペットを同行して、避難所まで避難することをいい、飼い主が避難所でペットと同室で飼養管理することを意味するものではありません。
- ☑ 避難所での生活  
避難所では飼い主とペットは基本的に別の場所で生活します。避難所での生活が難しい場合は、車の中での生活や施設への預け入れも検討しましょう。
- ☑ 飼育マナー  
避難所ではペットの鳴き声や臭いなどからペットトラブルにつながる可能性があります。避難所でのルールを守り、適正な飼育に心掛けましょう。
- ☑ 動物が苦手な方への配慮  
避難所には動物が嫌いな方やアレルギーを持つ方もいます。普段以上に周りの人への配慮に心掛けましょう。

▶問合せ 防災安全課防災安全グループ ☎ 28・0355

## Jアラートによる訓練放送

Jアラート(全国瞬時警報システム)は、緊急地震速報や弾道ミサイル情報などを各自治体の防災行政無線を通じて瞬時に自動放送し、被害の軽減に役立つシステムです。このJアラートによる訓練放送を次の日程で行います。本放送とお間違いないようご注意ください。

### ●全国一斉情報伝達訓練

▼とき 2月9日(金)午前11時頃

▼実施内容 Jアラートの動作確認を目的とした訓練放送

▼放送内容 「(チャイム)」

「これは、Jアラートのテストです。」

3回繰り返す

「こちらは『ほうほうとよやま』です。」

(チャイム)」

▼問合せ 防災安全課防災安全グループ

☎ 28・0355

